

環境経営レポート 2023

運用期間 2023. 7. 1～2024. 6. 30 発行日 2024. 9. 15



有限会社坂井商店



目 次

1. 環境経営方針	
基本理念・環境経営基本方針	1
2. 組織の概要及び対象範囲	2
3. 事業の概要	
(1) 事業の規模	4
(2) 事業の内容・(3) 事業活動に関する許可・登録	5
(4) 施設の概要	6
(5) 運搬車両の概要	9
(6) 処理工程図と総取扱量及び受託した廃棄物処理量	10
(7) マテリアルフロー図	11
(8) マテリアルバランス	13
4. 環境経営目標及び環境経営計画の取組みと実績評価	
(1) 二酸化炭素排出量の削減	15
(2) 廃棄物(一般)排出量の削減	19
(3) コピー用紙使用量の削減	21
(4) 水道使用量の削減	22
(5) 総取扱廃棄物のリサイクル率の向上	23
(6) オフィス用品のグリーン調達	25
5. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び	
評価の結果並びに違反・訴訟などの有無	26
6. 代表者による全体評価と見直しの結果・指示	27
7. 次年度の取組み	27
8. 中長期環境経営目標	28
9. 環境保全に関するその他の取組み	
環境コミュニケーション	29
外部監査及び表彰歴	31
10. 環境保全検査の測定結果	
(1) 中間処理施設(焼却炉1号炉)	35
(2) 安定型最終処分場水質検査記録	36

参考文献・資料

- ・環境省 エコアクション21産業廃棄物処理業者向けガイドライン2017年版
- ・電気事業者(九州電力)排出係数 温対法に基づく温室効果ガス排出量算定(令和5年度実績値の算定)に用いる「電気の使用に伴うCO₂排出係数」より CO₂排出係数 0.462 kg-CO₂/kwh(2022年度実績)
- ・環境省地球環境局 事業者からの温室効果ガス排出量算定方法ガイドライン参照



環 境 経 営 方 針

基 本 理 念

有限会社坂井商店は、豊かで持続可能な社会の実現にむけて、安心・安全な生活の確保を目指し、廃棄物処理業・建設業において適切な処理を行うと同時に、リサイクル及び再資源化への積極的な推進を行い、社員一同環境保全と地域社会貢献に努めます。

環 境 経 営 基 本 方 針

- ① 当社が行う産業廃棄物及び一般廃棄物の収集運搬、建設工事（土木・解体等）、産業廃棄物の中間処理（焼却・破碎・圧縮）、最終処分（安定型）及びリサイクルにかかわる環境影響を的確に捉え、目標を設定し、環境マネジメントシステムの継続的改善を行い、全社員で環境保全に努め、循環型社会に貢献します。
 - 1) あらゆる産業廃棄物のリサイクルを推進します。
 - 2) 車両、機械・設備の効率的な運転を行い、二酸化炭素の排出量の削減を行います。
 - 3) 事務所では、節電、節水、事業系一般廃棄物の分別を徹底し、廃棄物の排出量を減らします。
 - 4) 事務用品等一般購入品のグリーン調達に努めます。
 - 5) 学生教育実習又は環境学習会を通して、環境人材育成に努めます。
- ② 環境関連法規制及び当社が同意したその他の要求事項を順守し、環境保全に努めます。
- ③ 排出事業者・従業員・地域社会など当社を取り巻くあらゆる関係者との対話を深め、環境コミュニケーションをより充実させます。

本方針は、全従業員に周知徹底するとともに、社外に公表します。

改	訂	履	歴
平成18年	7月1日	新規	制定
平成20年	11月13日	改定	
平成23年	7月10日	改定	
平成24年	11月10日	改定	
平成27年	6月25日	改定	
平成30年	10月17日	改定	

令和3年11月10日 改定

(有)坂井商店

代表取締役

坂井 茂夫

2. 組織の概要及び対象範囲

(1) 事業者名及び代表者名

有限会社 坂井商店 代表取締役 坂井 茂夫

(2) 設立

昭和 38 年 1 月 15 日 坂井商店 (自営業) 創業

平成 5 年 11 月 15 日 有限会社 坂井商店 設立

(3) 資本金

10,000,000 円

(4) 事業所の所在地

- 本社及び中間（焼却）処理場：佐賀県佐賀市久保泉町大字下和泉一本権 635 番 1
- 積替え保管・中間（破碎・圧縮）処理場：佐賀県佐賀市久保泉町大字下和泉五本権 245 番 1
- 安定型最終処分場：佐賀県神埼市脊振町鹿路 1199-41、1199-99、1199-100
- 資材・機材置場：佐賀県佐賀市久保泉町大字下和泉一本権 613 番 2
- 駐車場：佐賀県佐賀市久保泉町大字下和泉字一本権 637 番 1

(5) 管理責任者及び担当者連絡先

環境管理責任者：坂井 賢一郎

連絡先：TEL 0952-98-0118 FAX 0952-98-3249

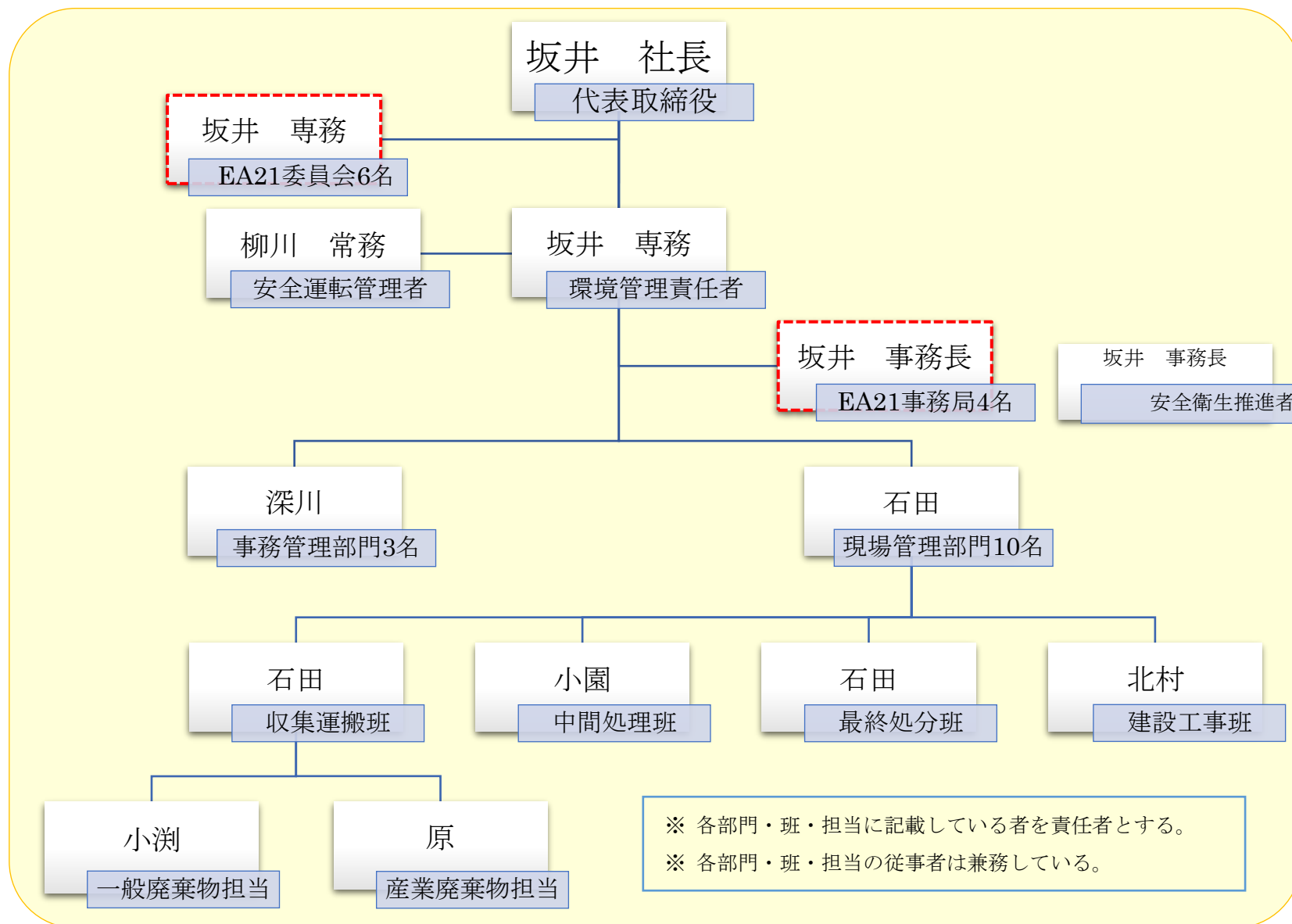
E-mail yu-sakai@carrot.ocn.ne.jp

(6) 事業年度及び取組期間

事業年度：毎年 7 月 1 日から翌年 6 月 30 日

取組期間：令和 5 年 7 月 1 日～令和 6 年 6 月 30 日

(7) 実施体制



(8) 有資格者

産業廃棄物最終処分場技術管理者 2名, 1級土木施工管理技士 2名,
 2級管工事施工管理技士 1名, 2級土木施工管理技士 3名,
 2級建設機械施工管理技士 1名, 一般建築物石綿含有建材調査者 1名

産業廃棄物焼却施設技術管理者 1名
 産業廃棄物破碎・リサイクル施設技術管理士 1名

3. 事業の概要

(1) 事業の規模

当社の事業規模は次の通りです。

※各項の数値については小数点以下四捨五入。

活動規模	単位	令和4年度	令和5年度
総売上高（税込）※	百万円	270	253
従業員	人	17	17
本社及び中間（焼却）処理場	m ²	3,996.80	3,996.80
中間（破碎・圧縮）処理場	m ²	1,897.86	1,897.86
安定型最終処分場	m ²	12,761.00	12,761.00
資材・機材置場	m ²	1,504.07	1,504.07
総敷地面積	m ²	20,159.73	20,159.73
取扱産廃量	t	4589	4483
解体工事に伴う産廃量	t	7	7
取扱一廃量	t	2429	2419
取扱有価物量	t	673	609
産廃処理後の有価物量	t	173	138
総取扱量	t	7524	7380

※総売上高については、土木建築資材の販売、解体及び土工事、一般廃棄物収集運搬及び産業廃棄物収集運搬、産業廃棄物処分の売上と有価物売却高等を含む。

(2) 事業の内容

- ①土木建築資材の販売
②建設業(土木工事業、とび・土工工事業、しゅんせつ工事業)：建設業の許可 佐賀県知事許可第 7905 号
③一般廃棄物処理業【収集・運搬(積替え及び保管を除く)】：佐賀市許可番号佐市循推第 377 号(有効期間:令和 6 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 31 日)取扱品目:一般廃棄物
：神埼市生環第 1-7 号(許可期限:令和 5 年 4 月 1 日～令和 7 年 3 月 31 日)取扱品目:一般廃棄物
④産業廃棄物収集運搬業【積替え及び保管を除く(佐賀県のみ積替え及び保管有り)】
⑤特別管理産業廃棄物収集運搬業(積替え及び保管を除く)
⑥産業廃棄物処理業(中間処理(焼却・破碎・圧縮)、最終処分(安定型))
⑦古物商:許可第 911010008478 号

(3) 事業活動に関する許可、登録の内容 (※④⑤⑥の許可の内容)

[illegible]

⑤ 特 別 管 理 産 業 廃 棄 物 収 集 運 搬 業					許 可 品 目									
都道府県及び 政令市	積 替 え 保 管	優 良 認 定	許可年月日及び 有効期限	許可番号	燃えがら(カ ドミウム又はそ の化合物、鉛 又はその化合 物、六価クロ ム化合物、砒 素又はその化 合物、セレン又 はその化合物 又はダイオキシ ン類を含む ことのみにより 有害なものに 限る)	汚泥(水銀若しくは その化合物又はカド ミウム若しくはその化 合物又は鉛若しくは その化合物又は有機 リン化合物又は六価 クロム化合物又は砒 素若しくはその化 合物又はシアン化合物 又はトリクロロエチレ ン又はテトラクロロ エチレン又はジクロ ロメタン又は四塩化 炭素又は1, 2-ジクロ ロエタン又は1, 1-ジ クロロエチレン又は シス-1, 2-ジクロロ エチレン又は1, 1-ト リクロロエタン又は 1, 1, 2-トリクロロエ タン又は1, 3-ジクロ ロプロペン又はベン ゼン又は1, 4-ジオキ サン又はダイオキシ ン類を含むことのみ により有害なものに 限る)	廃油(揮発油類、灯 油類及び軽油類であ るもの又はトリクロロ エチレン又はジクロ ロメタン又は四塩化 炭素又は1, 2-ジクロ ロエタン又は1, 1-ジ クロロエチレン又は シス-1, 2-ジクロロ エチレン又は1, 1-ト リクロロエタン又は 1, 1, 2-トリクロロエ タン又は1, 3-ジクロ ロプロペン又はベン ゼン又は1, 4-ジオキ サンを含むことの みににより有害なもの に限る。)	廃酸(水素イオン 濃度指数2.0以下の もの又は水銀若しく はその化合物又はカ ドミウム若しくはその 化合物又は鉛若しく はその化合物又は有 機リン化合物又は六 価クロム化合物又は 砒素若しくはその化 合物又はシアン化合 物又はトリクロロエ チレン又はテトラク ロロエチレン又はジ クロロメタン又は四 塩化炭素又は1, 2- ジクロロエタン又は 1, 1-ジクロロエチレ ン又はシス-1, 2-ジ クロロエチレン又は 1, 1, 1-トリクロロエ タン又は1, 1, 2-トリ クロロエタン又は1, 3- ジクロロプロペン又 はチウラム又はシマ ジン又はチオベンカ ルブ又はベンゼン 又はセレン若しくは その化合物又は1, 4- ジオキサン又はダ イオキシン類を含む ことのみにより有害 なものに限る)	廃アルカリ(水 素イオン濃度指数 12.5以上のもの又は 水銀若しくはその化 合物又はカドミウム 若しくはその化合物 又は鉛若しくはその 化合物又は有機リン 化合物又は六価クロ ム化合物又は砒素 若しくはその化合物 又はシアン化合物又 はトリクロロエチレン 又はテトラクロロエ チレン又はジクロロ メタン又は四塩化炭 素又は1, 2-ジクロロ エタン又は1, 1-ジク ロロエチレン又はシ ス-1, 2-ジクロロエ チレン又は1, 1, 1-ト リクロロエタン又は 1, 1, 2-トリクロロエ タン又は1, 3-ジクロ ロプロペン又はチウ ラム又はシマジン又 はチオベンカルブ又 はベンゼン又はセ レン若しくはその化 合物又は1, 4-ジオキ サン又はダイオキシ ン類を含むことのみ により有害なものに 限る)	銻さい(水銀 若しくはその化 合物又はカドミ ウム若しくはそ の化合物又は鉛 若しくはその化 合物又は六価 クロム化合物 又は砒素若し くはその化合 物又はセレン 若しくはその 化合物を含むこ とのみにより有 害なものに限 る。)	ばいじん(水 銀若しくはその 化合物又はカ ドミウム若し くはその化合 物又は鉛若しく はその化合物又 は六価クロム 化合物又は砒 素若しくはその 化合物又はセ レン若しくはそ の化合物又は ダイオキシ ン類を含むこと のみににより有 害なものに限 る)	廃 水 銀 等	廃 石 綿	
佐賀県 (特管)	無	優	平成30年11月21日	04151016143	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
			令和7年11月20日											
福岡県 (特管)	無	優	令和2年3月3日	04050016143	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
			令和9年3月2日											

(4) 施設の概要)

処理施設の種類	焼却施設（1号炉）	焼却施設（2号炉）
処理能力	9.6 t／日（8時間）	0.8 t／日（5時間）
産業廃棄物の種類	紙屑、木屑、繊維屑	紙屑、木屑
施設の設置場所	佐賀市久保泉町大字下和泉字一本椎 635 番 1	
設置年月日	平成 6 年 1 月 14 日	平成 3 年 4 月 1 日
処理方式	バッチ燃焼式 固定床炉	バッチ燃焼式 固定床炉
炉床面積	22.04 m ²	6.83 m ²
構造及び設備の概要	燃焼ガス温度 850℃以上 燃焼ガス滞留時間 2 秒以上 スクラバー・サイクロン	燃焼ガス温度 850℃以上 燃焼ガス滞留時間 2 秒以上 乾式サイクロン
焼却灰の処分方法	管理型埋立・安定化・固化	

処理施設の種類	最終処分場（安定型）
処理能力	面積 9,705 m ² 容量 95,615 m ³
産業廃棄物の種類	廃プラスチック類・金属くず・ガラスくず・コンクリートくず 陶磁器くず・ゴムくず・がれき類
施設の設置場所	神埼市脊振町鹿路 1199-41、1199-99 1199-100
設置年月日	平成 8 年 6 月 7 日
処理方式	多段式積上げ方式
構造及び設備の概要	コンクリート堰堤 排水溝 沈砂池
残容量	71,988.375 m ³ （令和 6 年 3 月 31 日現在）



【1号炉】



【2号炉】



【最終処分場】

処理施設の種類	破砕施設（固定式）	圧縮施設
処理能力	廃プラスチック類：1.9 t / 日（8 時間） 紙くず：1.9 t / 日（8 時間） 木くず：1.7 t / 日（8 時間） 繊維くず：1.7 t / 日（8 時間） 動植物性残さ：2.9 t / 日（8 時間） ゴムくず：3.5 t / 日（8 時間） 金属くず：1.7 t / 日（8 時間） がれき類：3.4 t / 日（8 時間） ガラスくず・コンクリートくず・ 陶磁器くず：3.5 t / 日（8 時間）	廃プラスチック類：6.8 t / 日（8 時間） 紙くず：15 t / 日（8 時間） 繊維くず：12 t / 日（8 時間） ゴムくず：26 t / 日（8 時間） 金属くず：4.3 t / 日（8 時間）
産業廃棄物の種類	紙屑・木屑・繊維屑・廃プラスチック類・ゴム屑・金属屑・動植物性残さ・がれき類・ガラスくず、コンクリートくず、陶磁器くず	紙屑・繊維屑・廃プラスチック類・ゴム屑・金属屑
施設の設置場所	佐賀市久保泉町大字下和泉字五本椎 245 番 1	
設置年月日	平成 13 年 8 月 27 日	平成 13 年 8 月 27 日
処理方式	一軸破砕方式	油圧式プレス方式
構造及び設備の概要	投入ホッパー・油圧式プッシャー・ベルトコンベア	ホッパー・結束機
処理施設の種類	破砕施設	
産業廃棄物の種類	廃プラスチック類・金属くず・ガラスくず、コンクリートくず、陶磁器くず（廃蛍光管に限る。）	
設置年月日	令和 4 年 1 月 2 5 日	
処理能力	4.0 t（1 6 0 0 0 本） / 日（8 時間）	
トラックスケール	地上型 秤量 40 t	



【破砕機】



【圧縮機】

積替え保管施設

所 在 地	佐賀県佐賀市久保泉町大字下和泉 2 4 5 番 1					
構 造	屋内保管場所（鉄製コンテナ）				屋内保管庫	
面 積	7.7 m ²	2.1 m ²	2.1 m ²	2.1 m ²	5.4 m ²	4.2 m ²
種 類	紙くず 木くず 繊維くず	燃え殻	鋳さい	ばいじん	廃酸	動植物性残渣
保管上限	11.9 m ³	2.0 m ³	2.0 m ³	2.0 m ³	2.4 m ³	2.0 m ³
高 さ	1.9 m	1.0 m	1.0 m	1.0 m	0.9 m	0.7 m

構 造	屋内保管場所（鉄製コンテナ）			
面 積	7.7 m ²	7.7 m ²	7.3 m ²	7.3 m ²
種 類	がれき類、廃プラスチック類、金属くず、ゴムくず、ガラスくず・コンクリートくず・陶磁器くず	ガラスくず・コンクリートくず・陶磁器くず（廃石膏ボードに限る）	石綿含有産業廃棄物	汚泥
保管上限	11.9 m ³	11.9 m ³	7.9 m ³	9.7 m ³
高 さ	1.9 m	1.9 m	1.4 m	1.7 m

構 造	屋内保管庫（ドラム缶）			
面 積	1.6 m ²			2.7 m ²
種 類	廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず・陶磁器くず（廃蛍光管に限る）	汚泥、金属くず（廃乾電池に限る）	廃アルカリ	廃油
保管上限	0.4 m ³	0.2 m ³	0.2 m ³	2.6 m ³
高 さ	0.9 m	0.9 m	0.9 m	1.8 m

(5) 運搬車両の概要

車体の形状	最大積載量	台数
塵芥車（2 t パッカー車）	2,000 kg	1 台
塵芥車（3 t パッカー車）	3,000 kg	4 台
ダンプ（2 t 車）	2,000 kg	2 台
ダンプ（2 t 車）	1,650 kg	1 台
ダンプ（4 t 車）	3,850 kg	1 台
キャブオーバ（ユニック車）	2,200 kg	1 台
キャブオーバ	2,000 kg	1 台
脱着装置付コンテナ専用車（4 t）	3,850 kg	2 台
脱着装置付コンテナ専用車（4 t）	3,700 kg	1 台
脱着装置付コンテナ専用車（2 t）	2,000 kg	1 台
ダンパー（清掃車）	2,770 kg	1 台



塵芥車（パッカー車）



ダンプ（2 t 車）



キャブオーバ（ユニック車）



脱着装置付きコンテナ専用



ダンパー（清掃車）

産業廃棄物収集運搬業の用に供する運搬車に係る低公害車の導入状況				
1.産業廃棄物収集運搬業の用に供する運搬車に係る低排出ガス車の導入状況				
運搬車の排ガスレベル		台数（割合）		
全保有台数		16 台	（	100%）
①平成12年基準排出ガス車 良☆		台	（	）
②平成12年基準排出ガス車 優☆☆		台	（	）
③平成12年基準排出ガス車 超☆☆☆		台	（	）
④平成12年基準超低PM排出ディーゼル車 ☆☆☆		台	（	）
⑤平成12年基準超低PM排出ディーゼル車 ☆☆☆☆		台	（	0%）
⑥平成17年規制適合車		1 台	（	6%）
⑦平成17年基準排出ガス車 ☆☆☆		台	（	）
⑧平成17年基準排出ガス車 ☆☆☆☆		台	（	）
⑨平成17年基準排出ガス重量車 ☆		台	（	0%）
⑩平成17年基準排出ガス重量車 ★		台	（	0%）
⑪平成22年規制適合車		6 台	（	38%）
⑫平成28年規制適合車		8 台	（	50%）
(低排出ガス車の導入目標)				
①平成30年3月末までに平成17年規制適合車～（⑥～⑪）の占める割合を保有台数の25%以上とする。 平成29年7月目標達成 ②令和3年3月末までに平成17年規制適合車以上（⑥～⑫）の占める割合を保有台数の50%以上とする。 平成30年11月 目標達成 ③令和5年3月末までに平成17年規制適合車以上（⑥～⑫）の占める割合を保有台数の60%以上とする。 令和2年3月 目標達成 ④令和7年3月末までに平成17年規制適合車以上（⑥～⑫）の占める割合を保有台数の90%以上とする。				
2.産業廃棄物収集運搬業の用に供する運搬車に係る低燃費車の導入状況				
運搬車の燃費低減レベル		台数（割合）		
全保有台数		16 台	（	100%）
平成17年度燃費基準達成車	①-	台	（	）
	②10%低減レベル	台	（	）
平成22年度燃費基準達成車	③-	台	（	）
	④5%低減レベル	台	（	）
	⑤10%低減レベル	台	（	）
	⑥15%低減レベル	台	（	）
	⑦25%低減レベル	台	（	）
平成27年度燃費基準達成車		4 台	（	25%）
		⑧5%低減レベル	2 台	（13%）
		⑩10%低減レベル	8 台	（50%）
		⑪15%低減レベル	台	（0%）
(低燃費車の導入目標)				
①平成30年3月末までに平成27年燃費基準達成車（⑧）の占める割合を全保有台数の12.5%以上とする。 平成29年5月目標達成 ②令和5年3月末までに平成27年燃費基準達成車（⑧）の占める割合を全保有台数の50%以上とする。 令和元年11月目標達成 ③令和6年3月末までに平成27年燃費基準達成車（⑧）の占める割合を全保有台数の60%以上とする。 令和3年3月目標達成 ④令和7年3月末までに平成27年燃費基準達成車（⑧～）の占める割合を全保有台数の80%以上とする。 令和5年3月目標達成 ⑤令和9年3月末までに平成27年燃費基準達成車（⑧～）の占める割合を全保有台数の90%以上とする。				

(6) 処理工程図と総取扱廃棄物量及び受託した廃棄物処理量

産業廃棄物の一連の処理の工程

(令和5年7月～令和6年6月)

自社処理

受
入

・木くず	554.839 t
・紙くず	120.507 t
・繊維くず	11.910 t

・木くず	78.94 t
・紙くず	0.74 t
・繊維くず	0.000 t
・ゴムくず	0.000 t
・廃プラスチック類	551.285 t
・金属くず	42.691 t
・動植物性残さ	11.270 t
・がれき類	19.293 t
・ガラス・コンクリート・陶磁器くず	94.52 t
・石膏ボード	30.704 t
・蛍光管	0.376 t

・紙くず	0.21 t
・繊維くず	6.890 t
・ゴムくず	0.000 t
・廃プラスチック類	495.065 t
・金属くず	14.774 t

・ゴムくず	0.000 t
・廃プラスチック類	291.966 t
・金属くず	9.433 t
・がれき類	1215.894 t
・石綿含有産業廃棄物	83.977 t
・硝子・コンクリートくず	410.381 t

㊦ 焼 却	687.256 t
----------	-----------

① 破 碎	829.819 t
----------	-----------

㊵ 圧 縮	516.939 t
----------	-----------

㊥ 安定型 埋 立	2340.438 t [破碎 ⇒ ①C 328.787t を含む
-----------------	--

①

委託処理

燃 え が ら	福南・ふたじま 不動 昭栄・篠原建設	造粒固化・再生骨材 管理型埋立	11.880 t 60.570 t
------------	--------------------------	--------------------	----------------------

②

委託処理

木 く ず	リ・ウッド/ショウエイ 環境/鶴松造園建設	堆肥化	72.310 t
木 く ず	九州商事	再生ボード	0.000 t
木 く ず	佐賀県環境クリーン財団	発電	10.030 t
繊 維 く ず	UBE 三菱セメント/佐賀 県クリーン財団/環境リ サイクルエネルギー	セメント熱源・原料・発電	3.090 t
廃 プ ラ ス チ ッ ク 類	高野環境	RPF 原料	17.500 t
廃 プ ラ ス チ ッ ク 類	UBE 三菱セメント/佐賀 県クリーン財団/環境リ サイクルエネルギー	セメント熱源・原料・発電	312.130 t
廃 プ ラ ス チ ッ ク 類	佐賀クリーン環境	熔融プラスチック原料	1.407 t
廃 プ ラ ス チ ッ ク 類	大島産業	焼却	49.280 t
廃プラ+がれき類 + 金属くず	信成開発/丸和	安定型埋立	370.480 0.000 0.000 t
動植物性残さ	大日技研	たい肥化	0.900 t
動植物性残さ	三協環境開発	焼却	9.980 t
金 属 く ず	大坪産業・サキンエコリ サイクル	金属再生	57.465 t
蛍 光 管	西日本ガラスリサイ クルセンター	ガラス再生	0.270 t
石膏ボード	NRS	ボード再生	42.590 t
が れ き 類	谷田建設・	再生骨材	6.010 t
廃 プ ラ ス チ ッ ク 類	前田通商	売却（プラスチック製品原料）	80.780 t
紙 く ず	(株)3R→石辰原料	製紙原料として売却	0.000 t

持ち出し量 ① + ②	1106.672 t
-------------	------------

総 受 入 量 4045.665 t

処理前保管量	17.22
処理後保管量	0.969

焼 却 残 渣 率

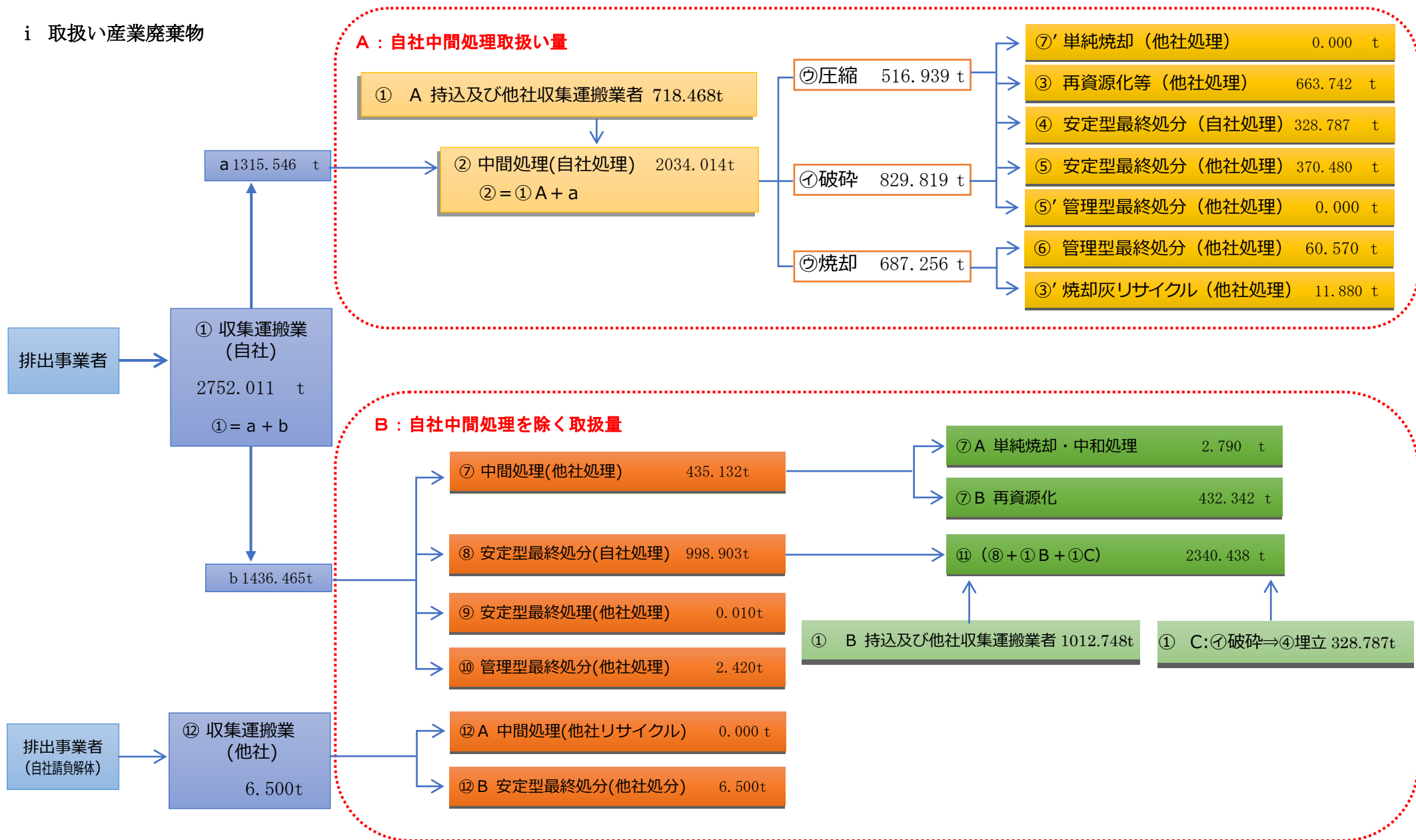
10%

(7) マテリアルフロー図（令和5年度）

リサイクル
③ + ③' = 675.622 t

最終処分
④ + ⑤ + ⑤' + ⑥ = 759.837 t

i 取扱い産業廃棄物



I 産業廃棄物自社受入量 ② + ⑪ - ① C = 4045.665 t

II 他社処理量 ⑦ + ⑨ + ⑩ = 437.562 t

I + II = 4483.227 t

ii 取扱い一般廃棄物



iii 取扱い有価物

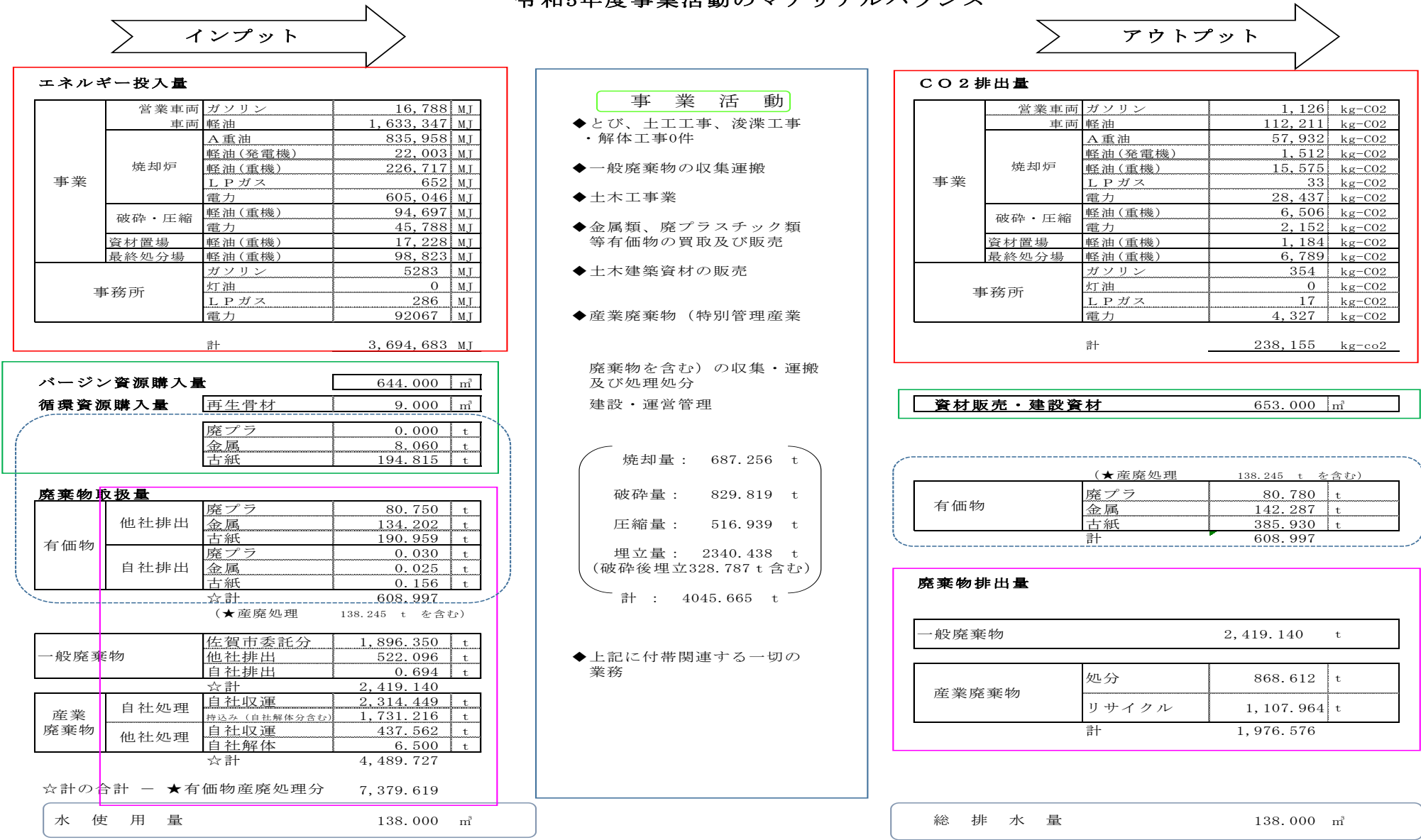


iv 総取扱い廃棄物量

① + ①A + ①B + ⑫ + ⑬ + ⑭ - ⑮ = 7379.619 t

(8) マテリアルバランス

令和5年度事業活動のマテリアルバランス



4. 環境経営目標及び環境経営計画の取組みと実績評価

< 環境経営目標と実績及び評価 >

環境目標	単位	基準年度 実績	(a) R5年度目標	(b)R5 年 度 実 績	増減(b-a)	達成率 a/b	評価	R4 年 度 実 績	対前年度 増減	R6年度目標
	達成度				削減率・増加率 (b-a)/a					
1 二酸化炭素排出量の削減維持	kg-CO ₂ /t	49.24	44.32 以下	32.27	-12.04	137.32%	◎	36.85	-4.58	41.36 以下
二酸化炭素総排出量/廃棄物総取扱量	削減率・増加率	17年度	(H17年度実績×90%)		-27.18%				-12.4%	(17年度実績×84%)
二酸化炭素排出量の削減維持	Kg-CO ₂ /百万円	1316.60	1250.77 以下	939.32	-311.45	133.16%	◎	989.61	-50.28	1211.27 以下
二酸化炭素総排出量/総売上百万円あたり	削減率・増加率	17年度	(H17年度実績×95%)		-24.90%				-5.1%	(17年度実績×92%)
2 廃棄物(一般廃棄物)排出量の削減維持	kg/100t	12.73	6.37 以下	3.55	-2.81	179.28%	◎	4.01	-0.46	4.46 以下
一般廃棄物排出量/廃棄物総取扱量100tあたり	削減率・増加率	17年度	(H17年度実績×50%)		-44.22%				-11.5%	(H17年度実績×35%)
廃棄物(一般廃棄物)排出量の削減維持	kg/百万	3.23	1.62 以下	1.03	-0.58	156.28%	◎	1.08	-0.04	1.45 以下
一般廃棄物排出量/総売上百万円あたり	削減率・増加率	18年度	(H18年度実績×50%)		-36.01%				-4.1%	(H18年度実績×45%)
3 コピー用紙使用量の削減維持	kg/100t	1.25	0.81 以下	0.79	-0.03	103.38%	◎	0.90	-0.11	0.81 以下
コピー用紙使用量/廃棄物総取扱量100tあたり	削減率・増加率	18年度	(H18年度実績×65%)		-3.27%				-12.3%	(H18年度実績×65%)
コピー用紙使用量の削減維持	kg/百万円	0.32	0.28 以下	0.23	-0.05	122.55%	◎	0.24	-0.01	0.28 以下
コピー用紙使用量/総売上百万円あたり	削減率・増加率	18年度	(H18年度実績×89%)		-18.40%				-4.9%	(H18年度実績×89%)
4 総排水量の削減維持	m ³ /100 t	3.05	1.53 以下	1.87	0.35	81.55%	△	1.57	0.30	1.53 以下
総排水量/廃棄物総取扱量100tあたり	削減率・増加率	17年度	(H17年度実績×50%)		22.62%				19.0%	(H17年度実績×50%)
水使用量の削減維持	m ³ /百万円	0.92	0.46 以下	0.544	0.08	84.51%	△	0.422	0.12	0.46 以下
総排水量/総売上百万円あたり	削減率・増加率	25年度	(H25年度実績×50%)		18.33%				29.0%	(H25年度実績×50%)
5 リサイクル率の向上	%	46.80%	53.82%以上	54.40%	0.58%	101.08%	◎	54.70%	-0.003	53.82%以上
総取扱廃棄物のリサイクル率		17年度	(H17年度実績×115%)		1.08%				-0.5%	(H17年度実績×115%)
6 オフィス用品のグリーン調達	%	81.37%	100%	99.20%	-0.80%	99.20%	○	93.93%	5.27%	100%
グリーン購入リストに挙げた事務用品の購入率		H22年度								

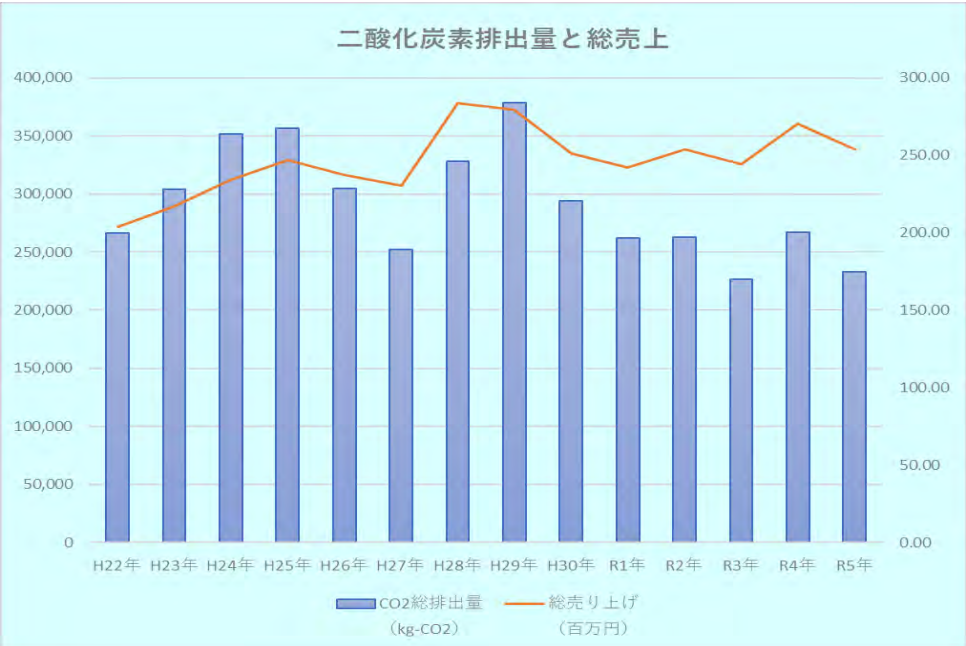
★環境経営目標の判定基準 ◎：達成率 100%以上 ○：達成率 90%以上 100%未満
△：達成率 70%以上 90%未満 ×：達成率 70%未満

※化学物質の使用はありません。

※建設廃棄物のリサイクルの推進に関しては、5 リサイクル率の向上に含まれています。また、解体工事等行ったときは 5S 事故 0 に努めます。

(1) 二酸化炭素排出量の削減

二酸化炭素排出状況



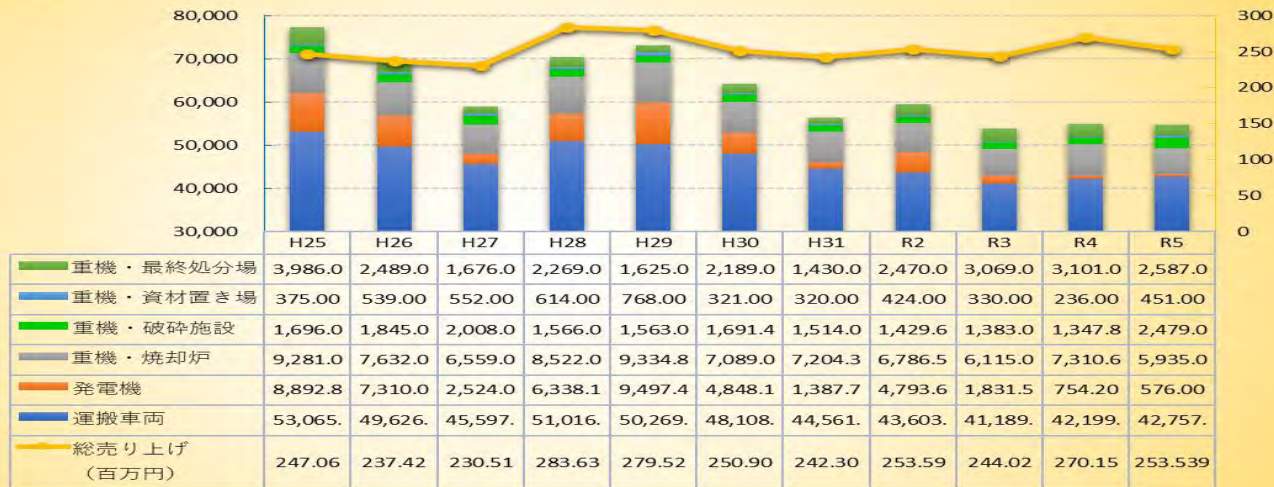
電力使用状況



施設別軽油使用量

(L)

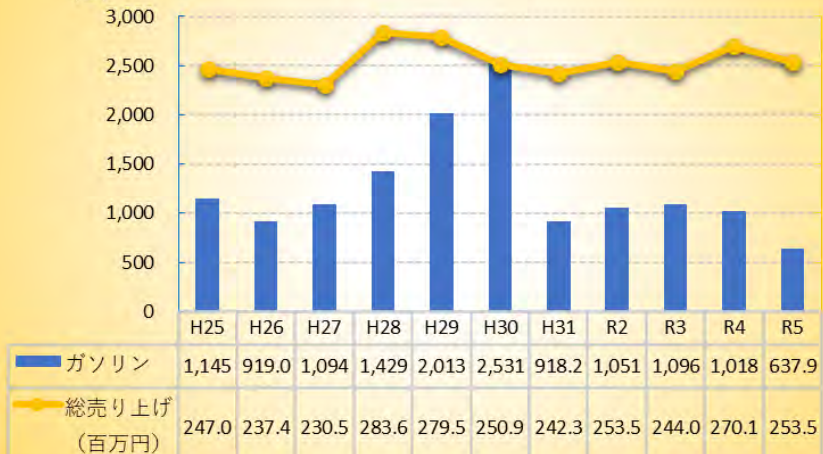
(百万円)



ガソリン使用量 (営業車)

(L)

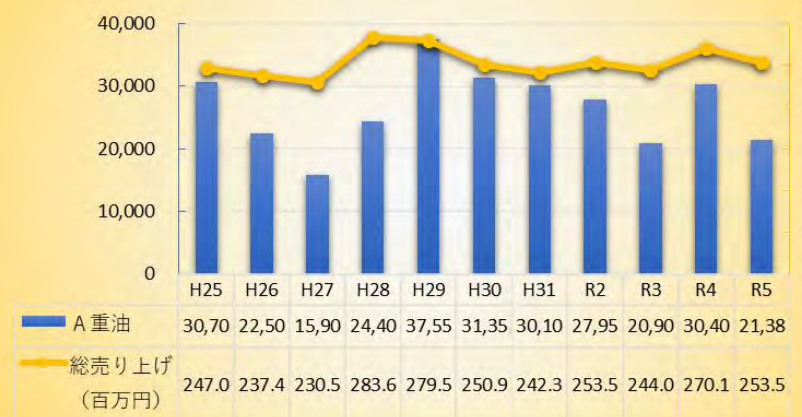
(百万円)



A重油使用量 (焼却炉)

(L)

(百万円)



令和 5 年度の取組目標と活動評価

取 組 目 標	活 動 項 目	活 動 内 容	責 任 者	評価
電 気 使 用 量 の 削 減	室内の温度管理の徹底	冷房時：28℃ 暖房時：20℃に保つ。	EMS 責任者	○
	クールビズ ウォームビズ	アイスリュック・クールリングの使用。空調服の使用。 ウォームリュック・ひざ掛け等の使用。	EMS 責任者	○
	電気ポットの不要時の電源 OFF。	お昼休みと終業時にコンセントを抜く。	石 田	◎
	OA 機器の省エネモードの利用を推奨	全ての OA 機器設定を省エネモードにする。	坂 井	◎
	焼却炉及び破砕機・圧縮機の効率的な運転	業務終了時は、確実に発電機等の電源を切る。	柳 川	◎
	照明器具及びエアコン等を良好な状態に保つ	照明器具及びエアコンフィルターの定期的な清掃等。	深 川	◎
	光熱費削減	不要な電気を使わない、使用後は必ず OFF にする。	坂 井	◎
化石燃料使用量の削減	効率の良い運搬経路の見直し。	廃棄物回収に併せて、処分場持込可能な運転経路を選択。 また、処分場の選択は距離を優先する。	石 田	◎
	構内で使用する重機等の燃料使用量の削減	重機・車両の運転向上のため年 1 回の訓練を実施。	小 園	○
	収集運搬車両の燃費向上。	タイヤの空気圧の調整・車両の日常点検を行い記録する。 経済速度での運転の励行、アイドリングゼロ、急発進・急ブレーキゼロの実行。	柳 川	◎
	低公害車両の比率向上。	最新設備を備えた車両の更新。	社 長	◎
	焼却炉の効率的運転。	水分を含んだ木くずを焼却しない。 雨天時は、焼却前の木くず等をシートで覆う。	小 園	◎

取組結果の評価

今期も春夏秋の外気温が高く室内温度を下げるためにエアコンの常時使用を行ったためか、事務所での電気使用量は増加してしまった。

また、売上の低迷に伴い、廃棄物処理量も減少した。特に木くずの焼却量が激減、その影響で CO2 排出量は昨年よりも減った。

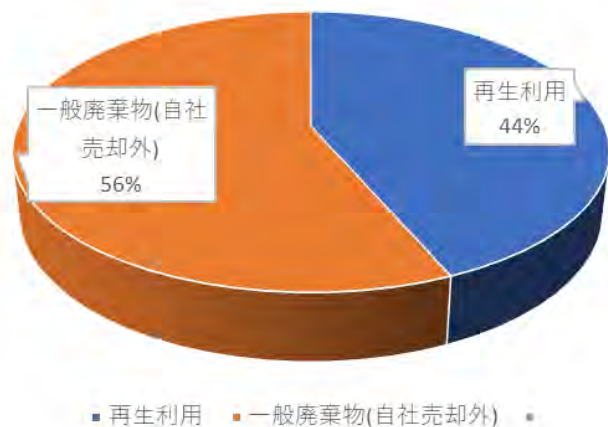
以上より、全体的には CO2 排出量削減は達成できた。

次回からも、社員の安全と会社の売上を維持しつつ、環境経営活動を継続する。

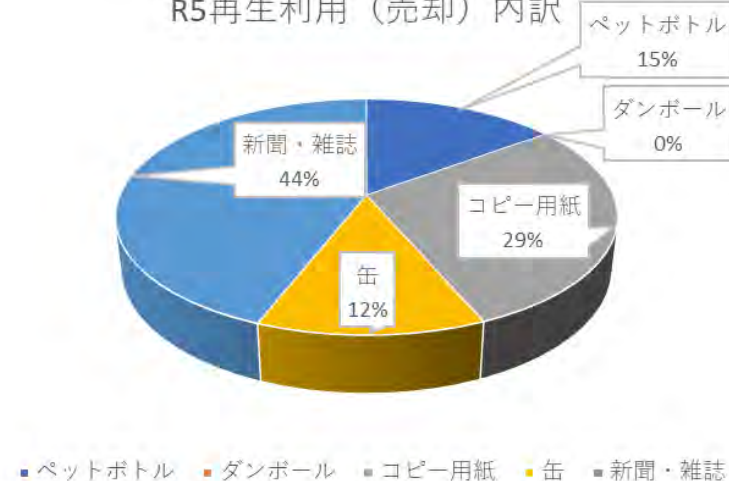
(2) 廃棄物（一般）排出量の削減

令和5年度 一般廃棄物再生利用の状況

R5 自社排出一般廃棄物の（再生利用）売却率



R5再生利用（売却）内訳



令和5年度 の取組目標と活動

取 組 目 標	活 動 項 目	活 動 内 容	責 任 者	評 価
一般廃棄物排出量の削減	ゴミの分別の徹底	紙、金属缶、ガラス瓶、プラスチック、電池等については、分別回収ボックスの適正配置。	深 川	◎
	封筒の再利用	郵便物等の使用済み封筒は、廃棄せずに再利用する。	坂 井	◎
	再生利用（売却）率の向上	売却ルートに載せられる容器等を使用した物品の購入に努める。	坂 井	◎
	ゴミの発生抑制	簡易包装の徹底、コピー用紙の裏紙利用。	坂 井	◎

感染対策の観点からディスプレイ製品の使用を継続しているが、廃棄物量の増加は見られず、徹底的に分別しリサイクルするという姿勢の表れた結果である。

この考え方は、全社員にも浸透しており、全員が一丸となって取り組んでいる姿勢がうかがえる。

これからも「処分より先にリサイクルする」事を念頭に、業務にあたっていく所存である。

(3) コピー用紙使用量の削減

令和 5 年度の取組目標と活動

取 組 目 標	活 動 項 目	活 動 内 容	責 任 者	評 価
コピー用紙使用量の削減	使用済紙の再利用及び両面印刷の推奨	コピー機・プリンター裏紙専用トレイによるコピー裏紙再利用及び両面印刷機能のフル活用。	EMS 責任者	◎
	F A X 送受信の印刷削減	送信はプリントアウトせず、PC 上から送信。また可能であればメールを活用。 受信は、自動印刷されないよう設定し、不要な FAX は印刷しない。	坂 井	○
	システムによる業務の一元化	独自に作成した業務管理システムによる販売管理・マニフェスト管理・産廃税管理の一元化の推進。	坂 井	◎



取組結果の評価

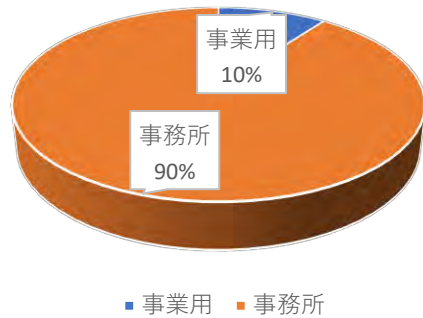
コピー用紙取扱量は昨年より若干下がっている。メールやライン、PDF の使用に注力しているが、まだまだ、ペーパーレスには程遠く、今後も地道に活動していくことが重要です。

(4) 水道使用量の削減

令和 5 年度 の 取組 目標 と 活動

水使用量・排水量については社員の増加・汚れ仕事の増加などが平成 24 年～25 年をピークに顕著に表れ、その後減少の傾向へ向かって来たので、努力の結果が見えるように基準年度をピーク時の 25 年度としています。

R5水使用内訳



取組目標	活動項目	活動内容	責任者	評価
水道使用量の削減	洗濯・洗車時の節水	洗濯物のまとめ洗いする。	深 川	◎
		洗車時はバケツを利用し、節水に努める。	原	◎
		汚れが酷い物は束子を使用し手洗い。	深 川	○
	蛇口の閉め忘れゼロ	管理者は、帰宅前に必ず確認する。	EMS 責任者	◎
	業務上の節水	ピット清掃時、ヤッケは古いものを着用し、洗濯はしない。	北 村	○
		燃え殻排出時、粉塵予防のための水かけは、可能な限り節水に心掛ける。	原	◎

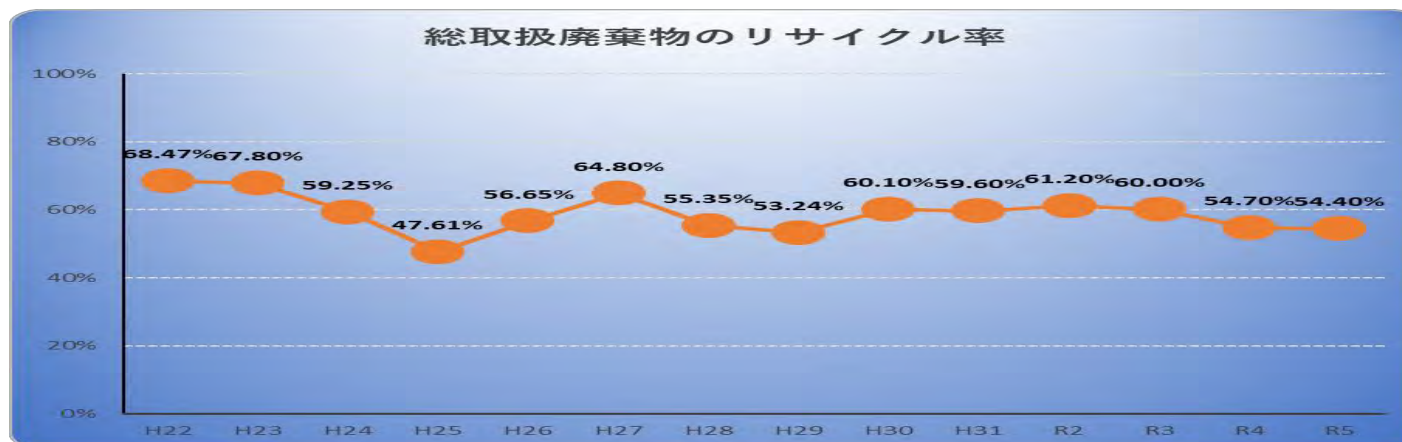


例年続く猛暑により、水使用量も増加傾向にある。
今年度は、車両数も増加したので、その分微増したのではないかと考えられる。

(5) 総取扱廃棄物のリサイクル率の向上

R5 年度の取組目標と活動

取 組 目 標	活 動 項 目	活 動 内 容	責 任 者	評 価
総取扱廃棄物の リサイクル率の向上	廃棄物の分別の徹底	収集先の廃棄物分別徹底のための提案及び指導を行う。	EMS 責任者	◎
		分別回収箱への明確な表示。	小 園	◎
		解体現場での分別の徹底。	北 村	○
		トラックスケールによる明確な重量把握	深 川	◎
	リサイクル情報収集及び発信	リサイクル可能な取引先の開拓	EMS 責任者	◎
		収集運搬受託先及び持込業者への情報提供	EMS 責任者	○
	排出業者のリサイクルへの理解	書類の焼却処分を、破碎後 RPF 製造等のリサイクル処分へ移行できるように排出業者へお願いする。	EMS 責任者	○



取組結果の評価

リサイクル率の実績は、昨年度対比で下降気味であるが、50%以上は維持できている。
 中間処理品の減少に比して最終処分品の増加が起因している。
 新たなリサイクル方法の確立がマストとなっている。

(有)坂井商店 リサイクルセンター

●ペットボトル

破碎機



●廃プラ類（ビニール、ラップ類）

圧縮機



●廃プラ類（硬質系）

破碎機

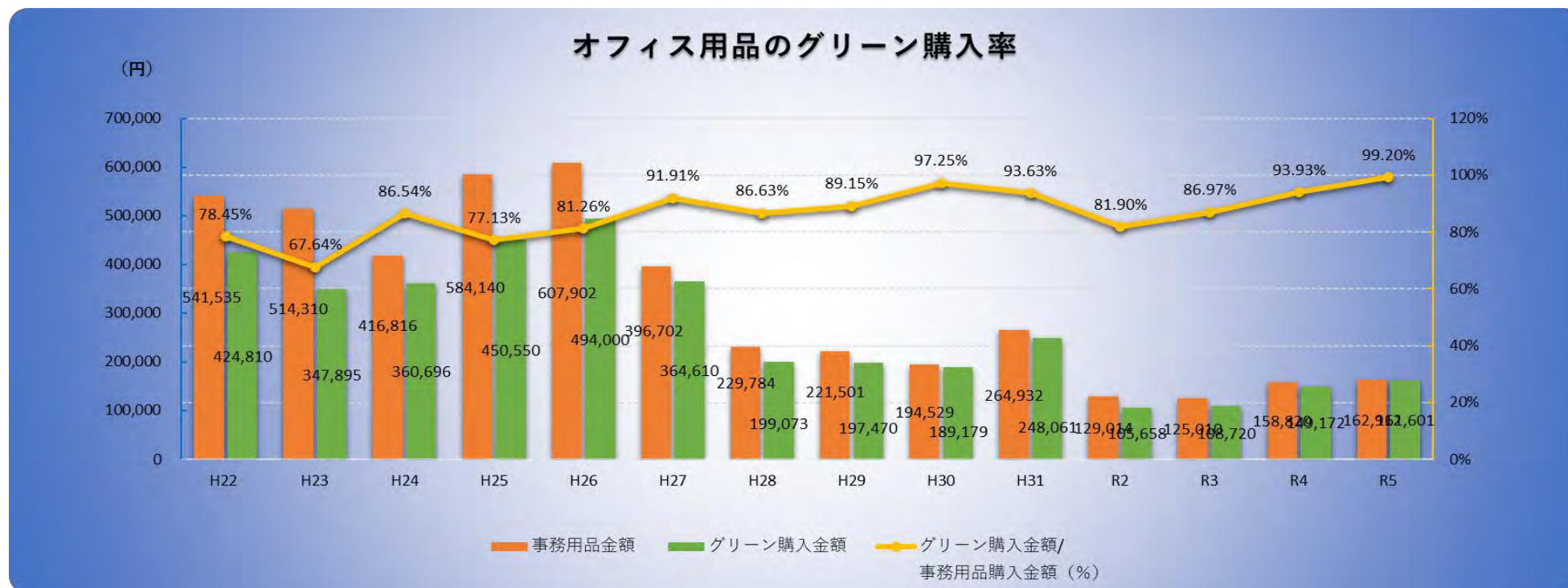


再製品化及びサーマルリサイクル

(6) オフィス用品のグリーン調達

R5 年度の実績と活動

取組目標	活動項目	活動内容	責任者	評価
オフィス用品のグリーン調達	グリーン購入の実施	自社購入品目の確認及び、事務員全体に意義と必要性を周知	坂 井	◎



取組結果の評価

グリーンコンシューマーとして、グリーン製品購入に努めている。少しずつではあるが、上がってきており99%を上回った。

5. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反・訴訟などの有無

関連法規・条例等	担当部署・施設	要求事項・対応策	遵守状況
・佐賀市廃棄物の減量推進及び適正処理等に関する条例	一廃班	各自治体（市町村）の収集運搬業許可証	○
・資源の有効な利用の促進に関する法律	全部署	事業者の債務：紙類・びん・缶・ペットボトルなど分別再生資源化する。	
・廃棄物処理法	産廃班	産業廃棄物優良認定取得	○
・佐賀県環境の保全と創造に関する条例施行規則			
・計量法			
・大気汚染防止法	中間処理施設（焼却）	ばい煙測定2回／年 水銀濃度測定2回／年 実施し基準に従う。	○
・ダイオキシン類対策特別措置法		ダイオキシン測定1回/年実施し基準に従う。	○
・古物商法	中間処理施設（破碎・圧縮）	古物商の許可・売買記録を保管する（3年間）	○
・佐賀中部広域連合火災予防条例	重油タンク	少量危険物屋外貯蔵所として届出を行う。	○
・水質汚濁防止		最終処分場の放流水・地下水等の基準を遵守	○
・森林法	最終処分場	伐採届を提出する。	○
・砕石技術指導基準書		切土勾配を45度以上にならないようにする。	○
・建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（建設リサイクル法）	解体工事班	・建設業の許可 佐賀県知事許可第7905・有資格者一覧表の作成・技術管理者の選任 ・標識の掲示・帳簿の備え付け等実施する。	○
・石綿障害予防規則		石綿使用建築物の解体を行うときに事前調査の掲示 隔離範囲の拡大 隔離と併せて講ずべき措置 解除時の措置 呼吸用保護具の使用等実施する。	○
・労働安全衛生規則	全部署	労働災害事故0に努める。重機の自主点検を実施する。	○
・道路運送車両法	収集運搬班	安全運転管理者・副安全運転管理者を選任する アルコール検知器を準備する アルコールチェックの記録の作成・保管体制を整備する	○
・使用済み自動車の再資源化等に関する法律（自動車リサイクル法）		・使用済みとなった自動車は引き取り業者に引き渡す。（購入業者に依頼する。） ・リサイクル費用を資金管理法人に対し預託する。	○
・道路交通法		過積載をしない。整備点検を実施する。	○
・特定家庭用機器再商品化法（家電リサイクル法）		出来るだけ長期に渡って使用するように努めるとともに排出の際は、リサイクル券を郵便局で購入し処理を委託する。 依頼があれば収集運搬する。	○
・フロン排出抑制法	全部署	フロン回収機器を取り扱う場合は必ずフロン回収業者へ引き渡す。 フロン回収証明書書きをいただいてから産廃処理する。	○

上記の環境関連法規等一覧表を作成・管理し環境法規及びその他の要求事項について遵守手順を運用しています。法律ごとに管理担当者を配置しており、違反・訴訟等はありません。

6. 代表者による全体評価と見直しの結果・指示

令和5年度、ついに「コロナ禍」の時代は終息した。

弊社の今年の会社としてのテーマは「リサイクル品目の増加」、環境目標としては「処分量が増加しても環境指数は現状維持」を掲げ、営業担当は新たなリサイクル品目開拓に集中、現場社員は回収ルートや消費電力の効率化を図り、それぞれ役割をもって会社の目標と環境目標の両目標達成に尽力した。

会社としての目標は達成した一方、環境目標は、おおむね達成ができた。その要因としては下記の通り挙げられる。

- ① 焼却廃棄物の減少による、CO2の低減
 - ② 例年通りの猛暑により、社員の安全面を最優先した結果、水使用量と事務所での電気使用量等が増加
- 上記①については評価、②については対応策として下記2点を挙げる。

- ① について、廃棄物処分量の減少の原因としては、木くずの破碎リサイクルが盛んになったことである。

経営者としての目線では芳しくないものの、環境負荷の目線でいくと、社会全体ではリサイクルが進んでいる事が読み取れる。

弊社においても、時代の流れに取り残されぬ様に、木くずの処分方法を見直す必要がある。

- ② について、事務所エアコン等設備を新しい物に変更し、使用電力の削減に取り組むように動いている。

これら対応策を念頭に置き、アフターコロナの時代に沿ったさらなる見直しを常に追求し、社員とお客様、環境を同時に守れる会社作りを目標と掲げることとする。

環境経営方針・実施体制は変更せず、環境経営目標・環境経営活動計画は現状維持・環境経営システムを現行通り運用する所存である。

令和6年7月31日 代表取締役 坂井茂夫

7. 次年度の取組

- (1) 二酸化炭素排出削減：引き続き活動を継続し、動向を把握する。
- (2) 一般廃棄物削減：引き続きリユース・リデュース・リサイクルに取り組む。
- (3) コピー用紙使用量削減：引き続き裏紙利用・メールの活用・両面印刷に加え、チラシの電子化に取り組む。
- (4) 水使用量削減：引き続き節水活動を継続する。
- (5) リサイクル：引き続き活動を継続し、動向を把握する。
- (6) グリーン購入：来期も目標達成に努める。

8. 中長期環境経営目標

環境経営目標		単位	基準値	中期目標	長期目標
		達成度		令和 7 年度目標	令和 8 年度目標
1	二酸化炭素排出量の削減維持	kg-CO2/t	49.24	41.00 以下	40.00 以下
	二酸化炭素総排出量／廃棄物総取扱量	km	H17 年度	-17%	-19%
	二酸化炭素排出量の削減維持	Kg-CO2/百万円	1316.60	1200.00 以下	1190.00 以下
	二酸化炭素総排出量／総売上百万円あたり	削減率・増加率	H17 年度	-9%	-10%
2	廃棄物(一般廃棄物)排出量の削減維持	kg/100t	12.73	4.35 以下	4.25 以下
	一般廃棄物排出量/廃棄物総取扱量 100t あたり	削減率・増加率	H17 年度	-66%	-67%
	廃棄物(一般廃棄物)排出量の削減維持	kg/百万	3.23	1.42 以下	1.40 以下
	一般廃棄物排出量/総売上百万円あたり	削減率・増加率	H18 年度	-56%	-57%
3	コピー用紙使用量の削減維持	kg/100t	1.25	0.80 以下	0.80 以下
	コピー用紙使用量/廃棄物総取扱量 100t あたり	削減率・増加率	H18 年度	-36%	-36%
	コピー用紙使用量の削減維持	kg/百万円	0.32	0.27 以下	0.27 以下
	コピー用紙使用量/総売上百万円あたり	削減率・増加率	H18 年度	-14%	-14%
4	総排水量の削減維持	m ³ /100 t	3.05	1.53 以下	1.53 以下
	総排水量/廃棄物総取扱量 100t あたり	削減率・増加率	H17 年度	-50%	-50%
	水使用量の削減維持	m ³ /百万円	0.92	0.46 以下	0.46 以下
	総排水量/総売上百万円あたり	削減率・増加率	H 2 5 年度	-50%	-50%
5	リサイクル率の向上	%	46.80%	54.50%以上	54.50%以上
	総取扱廃棄物のリサイクル率		H17 年度	16%	16%
6	オフィス用品のグリーン調達	%	81%	100%	100%
	グリーン購入リストに挙げた事務用品の購入率		H22 年度		

9. 環境保全に関するその他の取組み

◆事業所周辺道路の清掃風景（毎週1回）

環境
コミュニケーション



◆令和5年10月 最終処分場搬入道路 草刈り ボランティア支援

◆令和5年9月16日/令和6年6月15日大籠地区草刈 ボランティア



◆令和5年6月1日

廃棄物のソファの中から生まれた子猫を発見！！

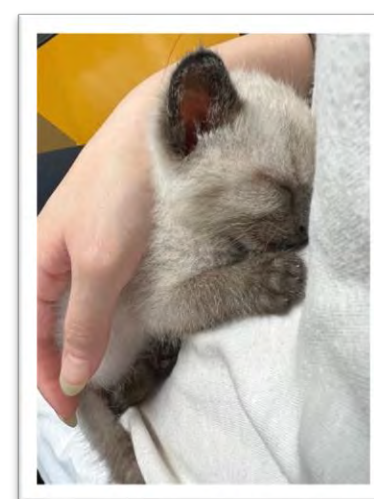
そこで、子猫に「愛久愛海」（あくあまりん）と名付け、坂井商店で保護することにしました。目も開かずミルクも飲めない状態でしたが、すくすくと成長し今では社長宅の廊下を走り回っています。



お気に入りの湯たんぽ



社員さんが作ってくれたトイレ



◆令和6年6月2日ふるさと美化活動参加



◆R6.6.4 SDG s 私募債久保泉小学校へ贈呈



◆支援を必要とする方々を募金を通じて応援しています。

◆ さが緑の基金へ 春と秋の年2回 緑の募金へ協賛 佐賀の森林整備・緑化推進の一助となっています。

◆（一社）佐賀県産業資源循環協会青年部

R5.10.26～10.29 青年部全国大会 I N沖縄参加

R6.1.22 災害廃棄物対策地区別意見交換会参加

CSR2 プロジェクト環境学習参加 R5.10.20 武雄小学校



不法投棄撤去ボランティア活動参加令和6年6月11日



外部監査及び表彰歴

年 月 日	外 部 監 査 及 び 表 彰 歴
-------	-------------------

平成18年 8月 某日
平成20年 3月 6日

- ◆監査の結果 リコーグループ環境経営報告書 2007 に廃棄物処理委託業者として掲載していただきました。
- ◆第11回環境コミュニケーション大賞環境活動レポート部門優秀賞を受賞。



平成20年10月18日
平成21年 某日
平成22年 3月 1日

- ◆エコアクション 21 全国交流研修大会 in 九州くまもと 2008 においてエコアクション 21 廃棄物部門賞受賞。
- ◆全産連青年部協議会 CO2マイナスプロジェクトに登録。
- ◆第13回環境コミュニケーション大賞 環境活動レポート部門優秀賞受賞。



年 月 日

外 部 監 査 及 び 表 彰 歴

平成22年 4月28日
 平成22年 6月 4日
 平成23年11月21日
 平成24年 1月29日

- ◆ ㈱リコー社会環境本部より優良事業所として認定していただきました。
- ◆ 社団法人産業廃棄物協会より優良事業社表彰をいただきました。
- ◆ 佐賀県優良基準適合確認(産業廃棄物収集運搬業・特別管理産業廃棄物収集運搬業・処分業)
- ◆ エコアクション 21 環境活動レポート大賞受賞。



平成24年 3月17日
 平成24年 6月 1日
 平成24年 9月 3日
 平成25年 3月 3日
 平成26年12月18日
 平成27年 2月25日

- ◆ 福岡県優良基準適合(産業廃棄物収集運搬業)
- ◆ 塩化ビニル管・継手協会様と契約。
- ◆ 熊本県優良基準適合確認(産業廃棄物収集運搬業)
- ◆ 福岡県優良基準適合(特別管理産業廃棄物収集運搬業)
- ◆ 古物営業法に係る古物営業許可取得。
- ◆ 第18回環境コミュニケーション大賞・環境活動レポート部門で優良賞を受賞。



年 月 日	外 部 監 査 及 び 表 彰 歴
平成27年 9月18日 平成28年11月22日	◆ 長崎県優良基準適合確認(産業廃棄物収集運搬業) ◆ EA21 10年事業者表彰をいただきました。
平成30年 6月15日 平成30年 9月24日	◆(公)全国産業資源循環連合会より地方優良事業所表彰を頂きました。 ◆ 経済産業省より、おもてなし規格認証を宣言しました。

年 月 日

外 部 監 査 及 び 表 彰 歴

令和2年2月19日

◆ 第23回環境コミュニケーション大賞 環境経営レポート部門優良賞受賞。



10. 環境保全検査の測定結果

(1) 中間処理施設(焼却炉 1号炉)

排ガスの測定記録

ダイオキシン測定年1回 ばい煙測定年2回 燃え殻溶出試験 年1回 水銀測定半年1回以上										
ばい煙	採取箇所	基準値(以下)	自社基準	2021.6.10 2021.6.24	2021.10.21 2021.11.4	2022.6.30 2022.7.21	2022.11.11 2022.12.1	2023.6.22 2023.7.7	2023.11.30 2023.12.18	2024.6.27 2024.7.8
ばいじん(g/m³)※	煙突中央部測定口	0.25	0.24	0.096	0.075	0.041	0.054	0.1	0.003	0.14
硫酸酸化物(m³/h)		3.93	5.50	0.10	0.30	0.16	0.38	< 0.094	0.10	<0.11
窒素酸化物(cm³/m³)※		(参考)250	230	66	56	48	69	41	26	55
塩化水素(mg/m³)※		700	600	< 50	160	< 53	< 78	< 87	< 72	< 75
水銀(H30.4月～)				2021.6.10 2021.6.24	2021.10.21 2021.11.4	2022.6.30 2022.7.21	2022.11.11 2022.12.1	2023.8.31 2023.9.7	2023.11.30 2023.12.18	2024.6.27 2024.7.8
ガス状 水銀(μg/m³)	炉内	50		14.0	2.3	0.1	0.8	5.7	2.8	9.0
粒子状 水銀(μg/m³)		50		5.6	1.9	0.61	0.62	1.4	1.3	3.5
ダイオキシン		基準値(以下)								
排ガス(ng-TEQ/m³N)		10	9	2021.10.21 2021.11.10	2.9	2022.11.11 2022.12.1	7.4	2023.11.30 2024.1.4	7.6	
ばいじん(ng-TEQ/g)		3	2.5	2021.10.22 2021.11.17	0.00000078	2022.11.12 2022.12.2	0.00013	2023.12.1 2024.1.4	0.00000039	
燃え殻(ng-TEQ/g)	サイクロン	3	2.5	2021.10.22 2021.11.17	0.0000015	2022.11.12 2022.12.2	0.00007	2023.12.1 2024.1.4	0.00000043	
燃え殻溶出検査		基準値(以下)			2021.10.26 2021.11.11	2022.6.13 2022.6.29		2023.5.19 2023.6.7		
カドミウム(mg/l)		0.3	0.2		0.009未満	0.009未満		0.009未満		
鉛(mg/l)		0.3	0.2		0.03未満	0.03未満		0.03未満		
六価クロム(mg/l)		1.5	1.4		0.1未満	0.1未満		0.1未満		
ヒ素(mg/l)	炉内	0.3	0.25		0.04	0.04		0.06		
水銀(mg/l)		0.005	0.004		0.0005未満	0.0005未満		0.0005未満		
アルキル水銀(mg/l)		検出されないこと	検出されないこと		0.0005未満	0.0005未満		0.0005未満		
PCB(mg/l)		0.003	0.002		0.0005未満	0.0005未満		0.0005未満		
セレン(mg/l)		0.3	0.2		0.03未満	0.03未満		0.03未満		
強熱減量(%)	炉内	15	14		1.7	1.9		1.8		
ばいじん溶出検査		基準値(以下)						2023.5.19 2023.6.7		
カドミウム(mg/l)		0.3	0.2					0.009未満		
鉛(mg/l)		0.3	0.2					0.03未満		
六価クロム(mg/l)		1.5	1.4					0.1未満		
ヒ素(mg/l)	炉内	0.3	0.25					0.05		
水銀(mg/l)		0.005	0.004					0.0005未満		
アルキル水銀(mg/l)		検出されないこと	検出されないこと					0.0005未満		
PCB(mg/l)		0.003	0.002					0.0005未満		
セレン(mg/l)		0.3	0.2					0.03未満		
強熱減量(%)	炉内	15	14					1.8		

※は12%酸素換算値である。
NDは定量下限値未満を示す。

(2) 安定型最終処分場水質検査記録

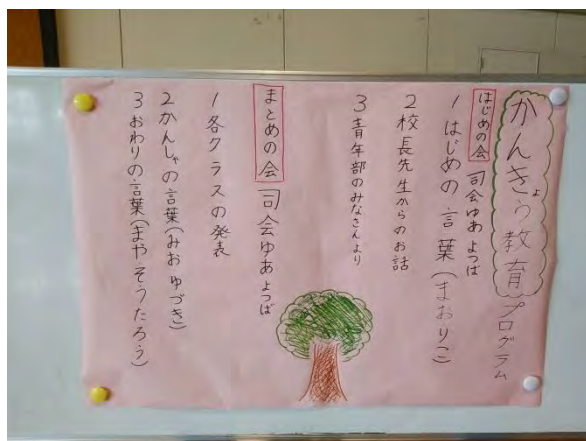
浸透水の水質検査 (BOD) 毎月/地下水・浸透水の水質検査 毎年

*地下水・上流は水が出ないため下流のみ検査を実施。

令和3年度	R3.7.2 R3.7.12	R3.8.6 R3.8.17	R3.9.22 R3.9.29	R3.10.19 R3.10.26	R3.11.12 R3.11.19	R3.12.3 R3.12.10	R4.1.11 R4.1.18	R4.2.7 R4.2.15	R4.3.7 R4.3.15	R4.4.1 R4.4.8	R4.5.24 R4.5.31	R4.6.30 R4.7.7
BOD(mg/ℓ)	0.9	0.8	1.5	0.6	0.8	0.8	1.3	0.8	0.9	1.0	1.1	0.8
令和4年度	R4.7.28 R4.8.4	R4.8.29 R4.9.6	R4.9.22 R4.10.12	R4.10.4 R4.10.12	R4.11.7 R4.11.15	R4.12.5 R4.12.13	R5.1.12 R5.1.12	R5.2.6 R5.2.14	R5.3.6 R5.3.14	R5.4.3 R5.4.11	R5.5.16 R5.5.23	R5.6.13 R5.6.30
BOD(mg/ℓ)	0.7	1.1	0.9	0.7	0.5未満	0.6	1.5	2.9	1.2	0.8	0.5未満	0.6
令和5年度	R5.7.26 R5.8.2	R5.8.1 R5.8.9	R5.9.4 R5.9.11	R5.10.2 R5.10.11	R5.11.6 R5.11.13	R5.12.4 R5.12.11	R6.1.15 R6.1.23	R6.2.8 R6.2.14	R6.3.14 R6.3.22	R6.4.18 R6.4.24	R6.5.16 R6.5.23	R6.6.17 R6.7.4
BOD(mg/ℓ)	2.6	1.0	0.8	0.6	0.5未満	0.6	0.7	0.5未満	0.9	2.1	0.6	0.6

分析項目	基準値以下(mg/ℓ)	R4.9.22 R4.10.12 浸透水	R4.9.22 R4.10.12 地下水下流	R5.6.13 R5.6.30 浸透水	R5.6.13 R5.6.30 地下水下流	R6.6.17 R6.7.4 浸透水	R6.6.17 R6.7.4 地下水下流
ガドリウム	0.01	0.0003未満	0.0003未満	0.0003未満	0.0003未満	0.0003未満	0.0003未満
シアン	検出されないこと	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満
鉛	0.01	0.002	0.002	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.002
六価クロム	0.05	0.002	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満
ヒ素	0.01	0.003	0.001未満	0.002	0.001未満	0.001	0.001未満
水銀	0.0005	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満
アルキル水銀	検出されないこと	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満
PCB	検出されないこと	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満
四塩化炭素	0.002	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満
1.1.2-トリクロロエタン	0.006	0.0006未満	0.0006未満	0.0006未満	0.0006未満	0.0006未満	0.0006未満
1.2-ジクロロエタン	0.004	0.0004未満	0.0004未満	0.0004未満	0.0004未満	0.0004未満	0.0004未満
1.1-ジクロロエチレン	0.002	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満
1.2-ジクロロエチレン	0.04	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満

分析項目	基準値以下(mg/ℓ)	R4.9.22 R4.10.12 浸透水	R4.9.22 R4.10.12 地下水下流	R5.6.13 R5.6.30 浸透水	R5.6.13 R5.6.30 地下水下流	R6.6.17 R6.7.4 浸透水	R6.6.17 R6.7.4 地下水下流
ジクロロメタン	0.02	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満
ベンゼン	0.01	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満
トリクロロエチレン	0.03	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満
テトラクロロエチレン	0.01	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満
1.1.1-トリクロロエタン	1	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満
1.3-ジクロロプロペン	0.002	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満
チウラム	0.006	0.0006未満	0.0006未満	0.0006未満	0.0006未満	0.0006未満	0.0006未満
シマジン	0.003	0.0003未満	0.0003未満	0.0003未満	0.0003未満	0.0003未満	0.0003未満
チオベンカルブ	0.02	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満
セレン	0.01	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満
1.4-ジオキサン	0.05	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満
塩化ビニルモノマー・クロロエチレン	0.002	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満
水質悪化が認められた場合に講じた措置の内容 年月日							



地域貢献 環境保全
私たちは、坂井商店です。





私たちは廃棄物に向き合い、前進していきます。

2024 年 9 月 15 日 発行

有限会社 坂井商店